

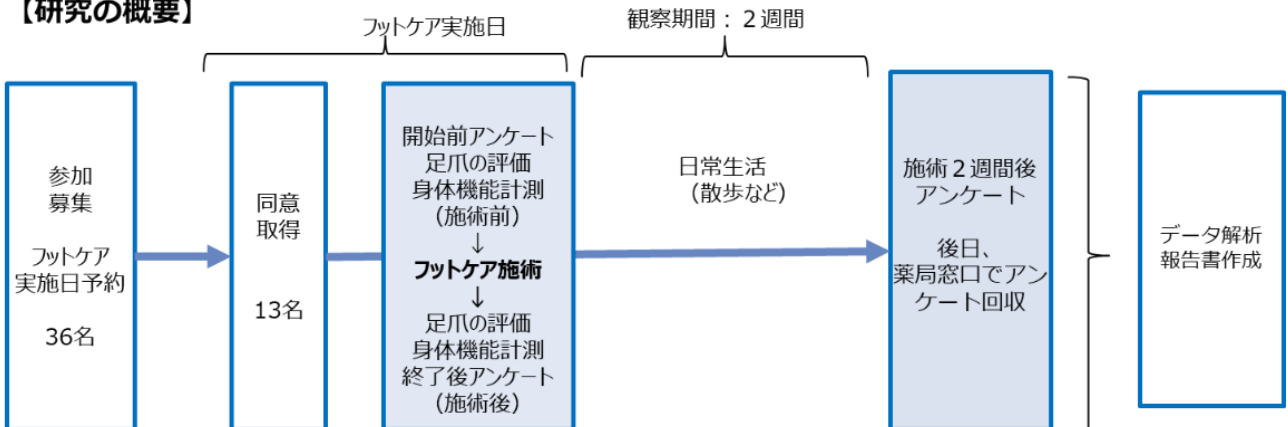
令和 5 年度神奈川 ME-BYO リビングラボ
実証事業実施結果・評価の概要（事業者評価）

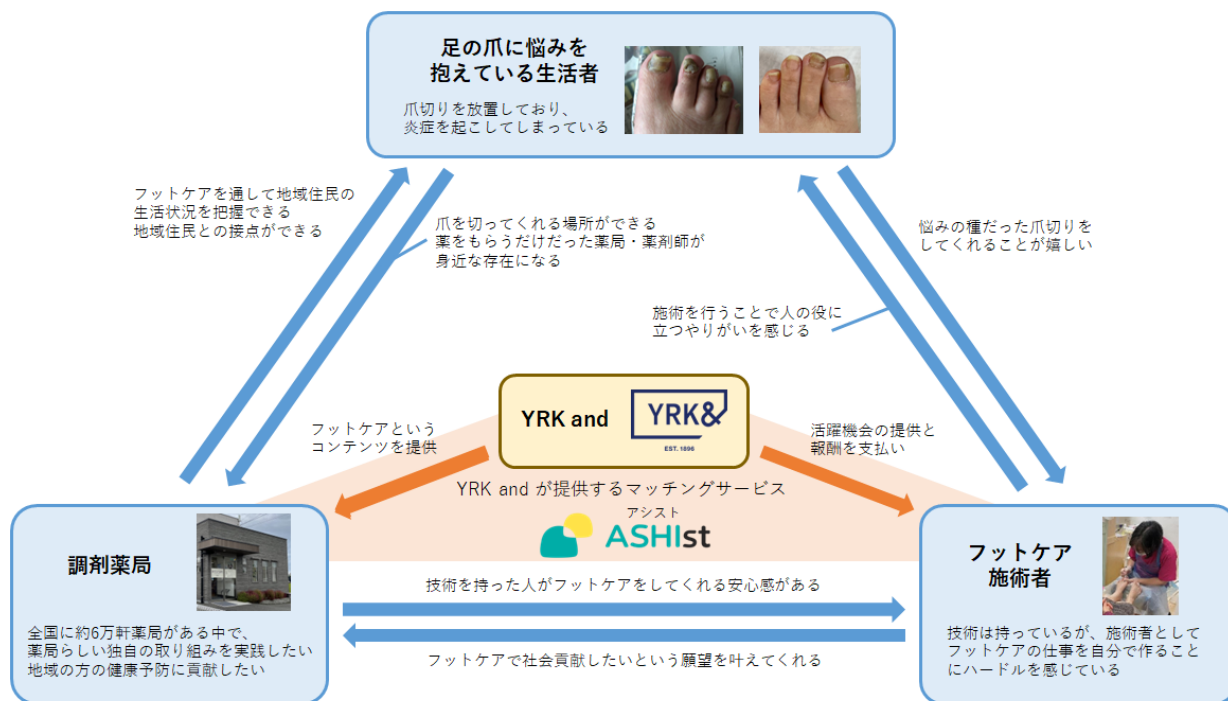
2024 年 8 月 1 日

1 実証事業の概要

- (1) 実施事業者：株式会社 YRK and（大阪府大阪市）
- (2) 実証テーマ：
高齢者のフットケアサービスを用いた歩行機能改善と運動習慣向上に関する探索的研究
- (3) 実証フィールド：クリエイト薬局綾瀬大上店、クリエイト薬局厚木南毛利店、クリエイト薬局あざみ野駅西口店
- (4) 参加者：調剤薬局・ドラッグストアの店舗において参加者募集を行い、応募のあった 13 名
(当初計画：36 名、声掛け：店舗内ポスター掲示や、チラシ 300 枚配布)
対象条件：60 才以上 80 才以下の高齢者（性別不問）
- (5) 実施期間：令和 6 年 1 月から令和 6 年 5 月まで
- (6) 実施概要：
 - ① 参加者に施術前測定およびアンケートを実施（足爪の評価（爪の長さ・厚さの計測、写真撮影）、身体計測（歩行機能、足指間圧力、開眼片脚立ち、ファンクショナルリーチテスト）及び歩行・日常生活に関するアンケート）
 - ② 40 分間のフットケア（爪切り・ヤスリによる爪の整え・保湿）を実施
 - ③ 参加者に施術後測定およびアンケートを実施（足爪の評価（爪の長さ・厚さの計測、写真撮影）、身体計測（歩行機能、足指間圧力、開眼片脚立ち、ファンクショナルリーチテスト）及びアンケート、歩行・日常生活に関するアンケート調査）
 - ④ 参加者に施術の 2 週間後、再度、歩行・日常生活等に関するアンケート調査を実施
 - ⑤ 施術前後の身体測定（歩行機能、足指間圧力、開眼片脚立ち、ファンクショナルリーチテスト）の変化及びアンケート結果について分析を実施
 - ⑥ 生活習慣・運動習慣面について、施術前・施術後・施術 2 週間後と合計 3 回行ったアンケートをもとに行動変化について評価を実施

【研究の概要】

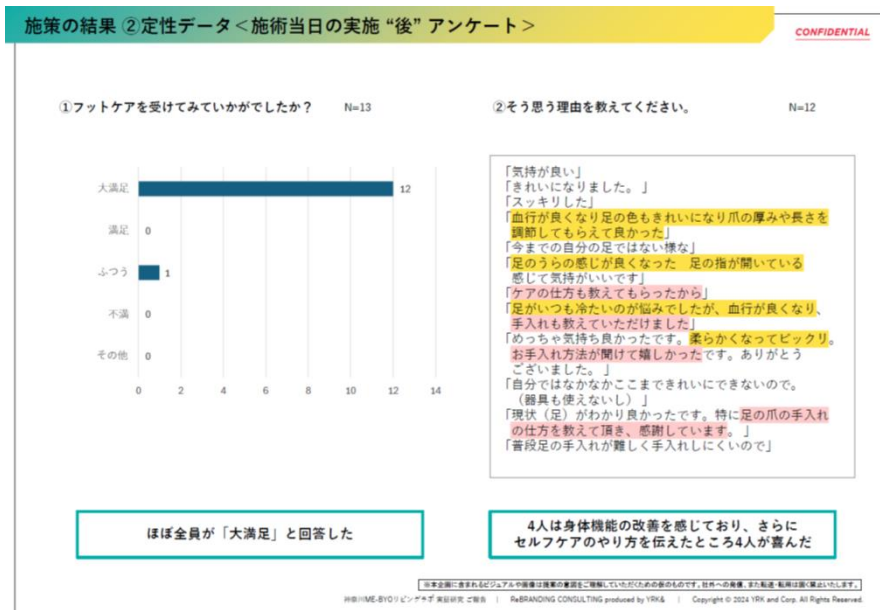




2 結果報告の概要

(1) 結果の概要

- 主要評価である歩行機能の指標については、統計学的な有意差の確認には至らなかったが、歩行推進力や歩幅などの項目で向上の傾向が示唆された。
- 副次評価項目のファンクショナルリーチテストでは有意な効果が確認でき、フットケアが歩行および前傾姿勢時の踏ん張りに一定の効果が有ることが確認できた。
- 参加者のアンケート評価についても、機能改善に関する自覚結果が確認できた。



(2) 実証から得られた成果・将来に向けての知見

- 自力歩行ができ、自力で生活できている高齢者であっても、人知れず痛みをかけている人が多く、フットケアニーズを抱えている高齢者へのフットケア介入は身体機能と行動変容に良い影響を与えることがわかった。
- 一方で、フットケアの認知度は低く、施術を受けて初めてフットケアの大切さを理解する人が多かったことから、高齢者が日々の生活の中で「足爪のセルフケアを意識していない・関心がない」傾向が見られた。
- 今回の実証を踏まえ、社会実装化に向けてフットケアの大切さに関する認知度を上げていくため、行政・医療機関・民間拠点（薬局等）とそれぞれが協力して、爪切り難民を救う普及活動を展開していくことが重要と考えられる。

(3) 本実証を踏まえた今後の予定、想定方針

- フットケアの必要性が自然に浸透するためのマーケティング活動
社会実装化に向けてフットケアの認知度を上げていくため、オーラルケア意識が醸成されていったように、行政・医療機関・民間拠点（薬局等）とそれぞれが協力して、爪切り難民を救う普及活動（薬局や地域におけるイベント開催等を含め）を展開していくことを検討していく。
- クリニックと連携した薬局の開拓活動
皮膚科や糖尿病・透析など足病と深い関わりのある診療科目の病院・クリニックから、門前の調剤薬局に対してフットケアサービスを紹介し、フットケアを実践するモデルの構築を検討する。
- 地域のチェーン調剤薬局との連携強化
糖尿病など足病と深い関わりのある疾患を持つ患者の来店者数の多い店舗にて、トライアルでのフットケア実施に向けて調整を進めていく。